

# ただいま!

— あたたかな第2の家庭を目指して —

## 初挑戦、フラワーアレンジメント!



地域の  
みなさんに  
支えられて

「個性が光る作品多数」

八月二日、講師に小松みどりさん(横代在住)を迎え、初の取り組み「フラワーアレンジメント教室」を行いました。長く続くコロナ禍、バス研修等の楽しく充実した行事ができず、それでも何か新しい試みをもっといていたところ、学童の子どもたちの喜ぶ顔の為ならと、快く講師を引き受けて下さいました。

花を生けるのは初めてという子がほとんどで、手順を聞く眼差しは真剣そのもの。器にセロファンとオアシスをセットし、いよいよ花を生けていきます。しかし、好奇心旺盛な一年生の男の子の中には、指で押すとグッと凹む感触が楽しくて、いくつも穴をあけてしまった子も慌ててストップをかけました。

トルコ桔梗をメインにアルストロメリア、シダをバランスよく生けました。切りすぎないように、不要な茎で作った物差しを準備して下さった小松さんの優しさには感謝です。

上の学年の子が一年生の子の花を切ってあげたり、優しく挿し方を教えてあげたり、温かい時間が流れました。

花材はみんな一緒なのに、その子その子の個性が溢れ、ステキな作品が完成しました。おうちのみなさんからも「きれいだね!」と褒められ、得意顔の子どもたちでした。

みさとクラブ(平田)



(指導員 佐藤 貴子)

■今年度も大きな行事をすることは叶わず、子どもたちの経験や人との関りはグッと減ってしまいました。そんな中でも今回は、子どもたちが輝いていた瞬間を全学童より紹介いたします。

### あおぞらクラブ(富士見)

#### 『けん玉ブーム、到来!』

10月下旬に「五連けん玉」を購入しお披露目すると、子ども達は興味津々! 五連けん玉に挑戦できるのは、けん玉で『もしカメ』をもとにした学童独自の検定に合格した子のみとしたところ、練習する子が急増。そして五連の玉5個を一気に全部載せる子も続出しました。

さらに11月下旬には「がんばりカード」を作り『飛行機』などけん玉の技14項目を設定し、できた項目にはシールを貼ることにしました。色々な技があることを知り、さらにやる気に火がついた子や、今までけん玉で遊ばなかった子

もやり始め、シールをもらったりとけん玉にハマる子がどんどん増えています。

(指導員

滝口 寿子)



五連けん玉成功者第一人

### わくわくクラブ(若浜第1)

#### 『紙飛行機大会』

#### 『願いを乗せて飛んでいくよ!』



新型コロナウイルスの影響で行事が中止となる中、保護者会長さんよりご提案を頂き、11月に紙飛行機大会を開催しました。

大会に向け、各家庭で親子での紙飛行機作りが始まりました。学童でも練習時間を

設けたところ、大盛り上がり毎日の毎日でした。

大会当日、「3・2・1ゴー」の掛け声で紙飛行機が飛んでいきます。

「〇〇君の紙飛行機凄い!」友達との会話も弾みます。決勝の舞台はグラウンド。優勝した子はお父さんと作った紙飛行機を使い、14m52cmの大記録を出しました。

大会の後はデザイン賞の投票。ホールには色とりどりの紙飛行機が並びました。

親子で協力して挑んだこの大会。子ども達にとって記憶に残る、充実した時間になったことと思います。

(指導員 齋藤 航太)

### みすみつこクラブ(南平田)

#### 『みすみつこの初夏秋冬』

南平田での外遊びは、自然豊かで1年間を通して遊ぶ場所がたくさんあります。子どもたちにとって、とても魅力的な学童です。



春はたくさん草花に囲まれ、新しい友達とおままごと、一輪車や鬼ごっこ、サッカーなど好きな遊びを全力で楽しんでいます。夏はせせらぎ池に色々な生き物が誕生。発見した小さな魚やめずらしい虫を見せ合います。秋には紅葉。冒険の丘の桜も色付き、そのきれいな葉っぱで見立て遊びをしたり、たくさん落ち葉を集めて寝てみたり。日が暮れるまで遊んでいます。冬になればそり滑りや、こんもり積もった雪で様々な遊びを展開。楽しい声が響いています。そんな校庭で遊びながら、友達との関わり方を学び、成長しています。そしてどの季節も子ども達の「先生見て!」と輝く笑顔を作ってくれるこの場所をこれからも大切に守っていききたいです。

(指導員 土田 友佳)





にじいろクラブ（泉第2）

『コレ、じゃあどいふの？』

お出かけできない夏休み。『子どもたちが楽しいこと、普段なかなかできないことってなんだろう?』と考えて、ひらめいたのが機械解体!ものを堂々と壊していいとはそうそう言われない。1・2年生は工具をもたずボールペンの解体と組み立てに挑戦。上の子どもたちの前には工具とゲーム機・電話機を持ってニヤリと現われた指導員(以下⑤)

⑤「これ壊してみたくない？」

⑤「え…壊していいの？壊したい！」

初めての体験に目を輝かせる子ども達。ネジを外し解体をすすめていたその時、

⑤「やばいドキドキする。ビリってきたらどうしよう」すかさず

⑤「大丈夫！電気通ってない（笑）」

③「はっ！そっか！」…その思考！コロナ禍でも、そんな会話に笑いが起きつつ、子ども達のキラキラした表情をみていると、やってよかったなと思う指導員なりました。



(指導員)

土岐田瑞希)



はだしっこクラブ(浜田)

『完成～！  
歓声～！』



「ジャイロひこうきで打ち上げ花火を上げるぞー!」と、先生の掛け声にワクワク顔の子どもたち。八月六日、山形県環境科学センターの安藤昭先生をお招きし、リサイクル工作『ジャイロひこうき作り』を行いました。

今回、一年生はトイレットペーパーの芯を使ったジャイロひこうき、二年生以上は段ボールを丸めて巨大ジャイロひこうきを作りました。完成したジャイロひこうきを使い、グラウンドで遊んだ後、「みんなで打ち上げ花火をあげるよ！せーのっ！」の掛け声で、空に向かって一齐に飛ばすと、綺麗な打ち上げ花火が！「すごい！きれいだー！」と大喜びの子ども達は何度も何度も、空高く花火を上げて楽しんでいました。

（指導員 渡辺 早貴）

(指導員 渡辺 早貴)

## たぶの木クラブ（琢成）

『駄菓子屋さん、開店!』

たぶの木クラブでは毎月1〜2回、『たぶのつきストア』と称した駄菓子屋さんおやつを開きます。

10円20円30円の各駄菓子コーナーを準備し、各々自分の好きな駄菓子を60円分選択しておやつで食べるのです。『たぶのっきストア』をする日は、学校から帰ってきた子どもたちから「今日はたぶのっきストアだよね?」「やった〜!」など、テンションの高い声が聞こえてきます。

準備から片付け、またお店の店員は5・6年生の高学年が担当！「いらっしやーい！」



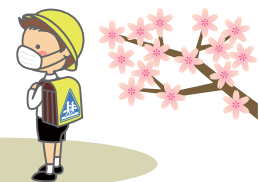
の駄菓子子はどう？」など元気のいい声が飛び交う『たぶのっきストア』は、子どもたちみんなが大好きな学童のプチ行事となっています。

(指導員)

菅原紀子



コロナ禍で  
毎年していた  
にあわせて工夫  
もたちの笑顔あ  
行事を紹介して  
ました。



## にこにこクラブ(松陵)

『待望の：  
米さんが  
来てくれた！』

以前から高学年会議  
で要望があった『米さ  
んの紙芝居』、ようやく念願かなって  
夏休みにお招きしました。初めての子  
も、何度も観ているはずの子も、紙芝  
居の「はじまり、はじまり。」皆を夢  
中にして前のめりにさせてしまう米さ  
んの話術。

子どもたちの記憶力と手を挙げる瞬  
発力に、クイズも盛り上がり(プレゼン  
トも効果大?)。

あーっという  
間に時間終了。

夏休みの楽しい  
思い出になりました。また来年  
会えたらいいな  
ありがとう米さ  
ん。

(指導員  
岩浪 和恵)



## なかよしクラブ(電ヶ崎第1)

『バッチリいただき!!』

一階のなかよしクラブと二階のよつ  
ばクラブと合同での夏祭り。会場も両  
方使い、五つのコーナー(射的・景品  
釣り・人形すくい・当てくじ・的当て)  
を準備。普段は行けないお互いの学童  
も当日は自由に行き来できるとあって、  
開始前の説明を聞く時から、もうワク  
ワクうきうき様子の子どもたち。

「狙った獲物は逃がさないよう!」と  
真剣な眼差しで次々に景品をゲットす  
る子も? 店  
員をしてく  
れた高学年  
も大忙し。  
景品で袋  
いっぱいにな  
って、み  
んな満足の  
様子でした。

(指導員  
齊藤英美)



## ひまわりクラブ(泉第1)

『開店! ひまわり!! 夏祭り』

今年の夏祭りは5・6年生が主体と  
なり、1か月前からこっそり企画スタ  
ート。店舗数は6店舗でした。お化け  
屋敷はあまりに



も本格的で、大泣きする子になかなか進め  
ず立ち止まってしまいう子も...大成功をおさ  
めお化け達は『してやったり顔』でした。

最後はジュースで乾杯!「明日もしたい」  
など嬉しい声もあり、大満足の夏祭りとな  
りました。

(指導員 渡部 舞子)



## わかっこクラブ(若浜第2)

『やっぱり一緒に  
楽しいね! 合同夏祭り』

子どもたちが毎年楽しみにしている  
夏祭り。今年は初めての分離があり、  
今まで学童で仲良くしていたお友達と  
離れてしまって少し残念...という子ど  
もたちの様子を見て合同で開催する事  
にしました。

当日は、発案・お店準備を担当してくれた四六年生のお店  
説明が始まっただけで皆テンションMAX! 輪投げ、当て物、  
すくい物、かき氷、駄菓子屋さんなどのコーナーも大盛況でした。  
普段出来ない学童間の行き来をしながら、久しぶりにお友達  
と楽しく過ごせて、皆の笑顔が沢山見られた一日となりました。

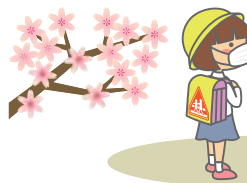
(指導員 野尻 知見)







規制が多い  
の行事の実施！  
行事もコロナ禍  
しながら、子ど  
ふれる一押し行  
もらいま



### きらめきクラブ(宮野浦第1) かがやきクラブ(宮野浦第2)

#### 『感染対策しながら夏満喫♪』



コロナ禍での2  
回目の夏休み。感染  
拡大防止の為、制約  
の多い生活を送っ  
ている子ども達に、  
少しでも楽しい思  
い出を作ってもら  
いたいと思い、宮野  
浦学童ではプール  
開放の代わりとして水遊びを行いまし  
た。

水鉄砲で遊ん  
だり、ホースで  
作った水のトン  
ネルをくぐった  
り、思い思いに  
水の感触を楽し  
んでいました。  
最終日には、  
スパーボール  
すくいも行い、  
夏を満喫することができました。



(指導員 大澤奈々恵)

### よつばクラブ(亀ヶ崎第2)

#### 『ハッピーハロウィン！』

よつばクラブのハロウィンパーティー  
では、昨年度から自分の衣装の持ち込  
みもOKに!! 普段は見ることででき  
ないみんなのお気に入りの衣装はどれ  
も素敵で、お家の人が作った手作り衣  
装も可愛かったです。写真撮影コー  
ナーでは嬉しそうにポーズを決め、ま  
るでキッズモデルのようでした(笑)。  
翌日が土曜で学校が休みということ  
もあり、顔にタトゥーシールを貼って  
楽しむ児童も多かったです。

(指導員 齋藤あすか)



### おひさまクラブ(松原第1)

#### 『みんなが 楽しめた ビンゴ大会!!』



今年のクリスマス会  
は、昨年のビンゴ大会  
でみんなが楽しめたのかな?と  
思うところがあったのでくじ引き  
おやつにしました。行事予定には  
あげていませんでしたが、冬休み  
初日「1年生全員に付いて教えな  
がら(見守りながら)になるけど  
ビンゴしますか?」と4年生以上  
会議で聞いてみました。「いいよ。  
やる。」と気持ちのいい返事。満場  
一致で急遽ビンゴ大会決定。上学  
年のやさしさでみんなが楽しめた  
「ビンゴ大会」になりました。

(指導員 黒石久美子)

### すまいるクラブ(松原第2)

#### 『六年生大活躍の 手作りビンゴ♪』



二学期最終日、学童では『クリスマ  
スお楽しみ会』を開催しました。ゲー  
ムは『手作りビンゴ』。枠だけのビンゴ  
カードに、自分で好きな数字を割り振  
るので、当たるかどうかは自分次第! すまいるクラブでは毎度  
おなじみなので、用紙配布、ゲームの説明・進行、景品の受渡  
し、全てを六年生が担い、とても盛り上がりました。  
おやつで食べた可愛いクリスマス上生菓子、サンタさんから  
のプレゼントも、楽しい会の盛り上げ役。開封の度に歓声が上  
がったプレゼントのおもちゃは、今でも大人気の遊びとなっ  
ています。

(指導員 小山 彩香)

# がくほれんって なあに?!



今年度の六月、保護者会会長会でのこと、『がくほれんって何?』と、わからない保護者の方が増えている」というお話を伺いました。

そこで、「がくほれん」のことをよく知る物知りお父さんと、聞きたがりお母さんの会話を聴きください。少しでもご理解いただけると思います。



**お母さん** 学童に行くところ「NPO法人がくほれんウィズ酒田」って出てくるけど、何なの?

**お父さん** 酒田市には、学童保育所が25あるらしいけど、そのうちの酒田市街地を中心に16学童保育所を運営している組織だよ。

**母** どうしてその組織が学童を運営しているの?

**父** 学童は、もともとは各学区のコミュニティ

■事務局情報  
この広報紙の1  
5ページまで活  
動紹介している  
16  
学童です。

振興会や自治会、民生委員、老人クラブ、小学校PTA等の地域の皆さんの協力を得て運営していたらしいよ。それを「地域主導型の運営」って言うんだって。

**母** ふーん。

**父** 学童を運営するには、通常の保育はもちろ

んのこと、その他にも表には見えない部分として、保育を行う場所の確保、指導員の募集や給料の支給、税務署や社会保険の加入、ハローワークへの手続き、就業規則の制定・労働基準監督署への手続きのほか、市からの委託金の申請手続や報告、保育施設の管理などの業務があるみたいだよ。

**母** そんなにあるんだね。

**父** 酒田市は、行政の理解があってほとんどの学童が学校敷地内に独立した保育施設があり、学校敷地内でないところも公共施設を利用した保育室で安全性が重視されたものとなっているんだよ。こういう恵まれた環境は、全国でもそんなに多くはないみたいなんだ。

**母** さっき「地域主導型の運営」っていう話があったけど、どういうこと?



**父** 昭和57年に酒田市に初めて学童保育所としてできたらしいけど、それ以来、保護者が中

心となって地域の方々と運営する「地域主導型」の運営だったそう。それがさっき言ったとおり、その運営の業務は多岐にわたり、働いている保護者にとっては、学童に入所したばかりに学童の運営という膨大な仕事が続いていたんだ。

**母** そういえば以前、保護者も保育したこともあると聞いたことがあるけどホントかしらね。

**父** それぞれの学区で学童を運営していたころは、指導員が休暇を取得したり、退職したりすると保護者が緊急に保育を手伝って、その場をしのいだこともあったそうだよ。

**母** だったら学童に入れたなくなるわよね。

**父** そう、それを危惧した保護者会会長経験者たちが、将来の学童の発展のために、この仕事は学童を卒業した保護者会OBが担おうと学保連を立ち上げて、事務局を担ったそう。

**母** 酒田市の指定

**父** 管理者ということを聞いたことがあるけど、なのこと?

**父** 指定管理者とは、ここでは行

■事務局情報  
平成13年に当時市街地にあった6学童が一つになり、地域主導型の形態を残しながら「酒田市学童保育連合会(通称・学保連)」を作り、会長は地域の代表者にお願いしました。

政が「公の施設をノウハウのある民間事業者等に管理してもらう制度」のことよ。学童も平成19年度から取り入れられたらしいよ。

**母** それが???

**父** 酒田市では管理を委託する指定管理者を決めるために5年ごとに入札をするので「酒田



市学童保育連合会」という任意団体では競争力が弱いという判断らしく、法人化をめざし「特定非営利活動法人(NPO法人)」を立ち上げたことだそう。

母 NPO 法人になって何か良いことがあるの？

父 法人格を得ることにより社会的な信用等が向上することとNPO法人としての、いろいろな制約があるものの法人税などは減免されているそう。法人を運営する理事は、ほとんどの人が無報酬であることや利益を追求してはならないなども、NPO法人の認証の条件なんだよ。よく、NPO法人ってボランティア団体と言われるけど、その辺にその所以があるみたいだね。

母 え、指導員は？

父 指導員は、通常の労働者と同様に給与等の支払い制限はないらしい。あっ!! それから年度単位での

残預金は、関係者で分け合ったりしてはならないのももちろんだけど、学童の運営のみに使う条件で、翌年度以降に繰り越して良いことになっているんだよ。

母 いろいろあるんだね。最後に、なんで「がくほれんwith酒田」っていう名前になったの？

父 「酒田市学童保育連合会」を通称「学保連」

■事務局情報  
平成23年2月  
にNPO法人格  
取得

■事務局情報  
ちなみに理事10名は、  
元保護者会会長9名、  
指導員1名になってい  
ます。男女別では、男  
性7名、女性3名です。

と呼んでいたから、親しみのある「がくほれん」を心機一転、漢字からひらがなで残し、「with」は「〜と共に」「〜と一緒に」等の意味で、地域を表す酒田市と共に歩む学童保育連合会という想いで、NPO法人に変わったとき名付けたらしいよ。

各学童運営委員会会長  
—地域の代表—  
(がくほれん評議員)

16の学童保育

保護者

がくほれん(理事会)

という訳で、『がくほれん』は地域の一つ一つの学童が集まった組織で、その運営を支えて下さっているのは地域の皆さんと元学童保護者会長の理事の皆さんです。保護者会や様々な集まりがなくなってもう2年が過ぎ、一見楽になったようですが、こんな事が伝え合えたり、学童内のことを情報交換したりしながら、子どもたちの生活を理解していただいた上で、一緒に子どもたちの事を考えさせていただけると幸いです。

## 黄色いレシートキャンペーン

皆様からご協力いただいている『黄色いレシートキャンペーン』は、コロナで店頭活動こそできずにあります。毎月ご協力いただき、イオンからの令和3年度受領額は、28,900円になりました。各学童には、“色鉛筆・折り紙・サッカーボール”を6月の総会終了後、指導員を通して贈呈しました。

ご協力、ありがとうございました。

ご寄付を

ありがとうございます

◎田宮 和朗 様 (酒田市みずほ)

毎年のご寄付、ありがとうございます。今回は、主にコロナウイルス感染予防対策に関するものの購入に充てさせていただきました。

■他にもご寄付をいただきました

◎大丸不動産 様

◎子ども食堂へのご寄付



～ 前理事長 佐藤義朗さんにお聞きしました ～

## 子どものワクチン接種が 始まりました!!

### ◎小児向け新型コロナ ワクチンについて

今回のワクチン接種は「努力義務」ではありませんので、強制ではなく、納得したうえで接種を判断することになります。

使用するワクチンは、ファイザー製の小児用で、1回0.2mlの筋肉注射です。成人同様に、三週間の間隔をおいて2回受けなければならないのが、お子さんにとってつらいですね。

なぜ、子どもにワクチンが必要かとなると、小児でも中等症や重症例が確認されており、家族（特に基礎疾患のある方、高齢者など）への感染を防ぐためでもあります。

### ◎感染症を防ぐために

新型コロナウイルスやインフルエンザウイルス等は、のどや鼻、目などの粘膜で増殖します。

体表面積からすれば、ほんのわずかな部分をガードすることで、ウイルスの侵入と増殖を防ぐことができます。マスクや、手指の消毒など感染管理を行いましょう。小学校の給食のメニュー表には、「赤い食べ物」「緑の食べ物」「黄色い食べ物」があり、子どもたちはこの三つが身体を守るために重要と学習します。

免疫力を高め、ウイルスを排除し増殖させない身体づくりをしていきましょう。

### ◎小児の接種の 副反応について

- 50%以上が「接種部位の痛み」「疲労」
- 10～50%が「頭痛」「筋肉痛」「悪寒」
- 「注射部分の発赤や腫れ」「1～10%が「下痢」「発熱」「関節痛」のようです。

### ◎接種後に保護者が 気をつけること

接種後数日以内は、副反応の症状が見られることが多いので、注意して過ごします。ワクチンの効果は100%では無いので、引き続きマスクの着用、石けんや手指消毒用アルコールの使用等の基本的な感染対策は必要です。

医学的観点から接種ができない方もいます。接種を受けないことによって、差別やいじめが起きないようにしていきたいと思っています。

### ◎コロナから学ぶもの

ステイプ・ジョブズ（アップル創業者）は、「先を見通して点をつなぐことはできない。振り返ってつなぐことしかできない。だから将来、何らかの形で点がつながると信じなければならぬ」と言いました。私もコロナが教えてくれるものが何かあると信じ、これからを過ごしていきたいと思っています。

（酒田地区薬剤師会会長 佐藤 義朗）

## あとかき

半世紀以上も前の話で恐縮ですが、子どものころ食事をするときには、「しゃべらない、早く食べる」とが親の教えでした。食事中、小学校での出来事を少し話しただけでも、「しゃべんな!! 唾飛ば!!」母の力を込めた大きな声で教育されました。医学がまだまだの時代、生活の知恵だったのでしょうか、母のあの高い注意は、飛沫感染予防の「黙食」の教えだったのかも知れない。

その後、高度経済成長の時代とともに、家庭内での食事は、楽しく会話をしながら家族団らんの場として変わってきました。

今、コロナの濃厚接触者の認定のときに「黙食」したかどうか聞かれるそうです。学童でも飛沫感染防止のために、一日保育時の昼食は黙食を取り入れ、おやつも中止や黙食で対応して、子ども達の学童での一番楽しい時間をなくし残念な思いでいっぱいです。

そんな中ですが保護者のみなさんとともに、子ども達が立派な大人になるように成長を見守っていききたいと思っています。

最後になりますが、私もNPO法人設立から事務局長として十二年、一週間後にはがくほれんを卒業します。大変お世話になりました。皆様のご健勝と学童のますますの発展をお祈りします。（事務局 阿部）